

オーディオを楽しむ

オーディオの基本操作.....H-2

ソースを選ぶ.....	H-2
映像の表示について.....	H-2
音量を調整する.....	H-2
オーディオをON／OFFする.....	H-3
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する.....	H-3
音声はそのまま画面を消す.....	H-3
時計を表示する.....	H-4

CDを聞く.....H-5

CDを再生する.....	H-5
選曲する.....	H-6
早戻し／早送りする.....	H-6
リピート／ランダム／スキャン再生する.....	H-7
オンライン検索をする.....	H-8

FM／AMを聞く.....H-9

FM／AMを聞く.....	H-9
選局する.....	H-9
道路交通情報を聞く.....	H-11

iPod／iPhoneを使う.....H-12

再生する.....	H-12
音楽を選曲する.....	H-13
音楽を早戻し／早送りする.....	H-15
音楽をリピート／シャッフル再生する.....	H-15
ビデオを再生する.....	H-16
iPod／iPhoneを本機に接続する.....	H-17

USB機器／SDカードを使う.....H-19

再生する.....	H-19
音楽を選曲する.....	H-20
音楽を早戻し／早送りする.....	H-21
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する.....	H-22
画像を再生する.....	H-22
再生する画像を選ぶ.....	H-23
画像のスライドショーを表示する.....	H-23
表示中の画像を回転する.....	H-23
動画を再生する.....	H-24
リストより再生する動画を選ぶ.....	H-24
USB機器を接続する.....	H-25
USB機器の接続をやめる.....	H-25

BLUETOOTH Audioを使う.....H-26

機器を初期登録設定する.....	H-26
登録した機器の詳細情報を見る／	
登録した機器を削除する.....	H-27
登録機器を切り替える.....	H-28
登録した機器の自動接続／優先接続を設定する.....	H-29
本機のBLUETOOTH情報を確認する.....	H-30
デバイス名／パスキーを変更する.....	H-30
音楽を再生する.....	H-31
選曲する.....	H-31
音楽を早戻し／早送りする.....	H-33
音楽をリピート／ランダム再生する.....	H-33

Music Rackを使う.....H-34

音楽を再生する.....	H-34
選曲する.....	H-34
音楽を早戻し／早送りする.....	H-37
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する.....	H-37
Music Rackの曲管理を行う.....	H-38
ジャケット写真を登録する.....	H-40
ジャンルを変更する.....	H-41
お気に入り登録する.....	H-42
お気に入りから削除する.....	H-43
お気に入りフォルダ名を変更する.....	H-43

フェード・バランス／サブウーファー音量の

調整をする.....	H-44
イコライザー(音質)の設定をする.....	H-44
サラウンドの設定をする.....	H-46
スピーカーの設定をする.....	H-47
車速連動音量を設定する.....	H-48

オーディオの基本操作

ソースを選ぶ

1

AUDIO をタッチする。

：AV MENU画面またはオーディオ画面が表示されます。

※オーディオ画面が表示された場合は、再度 **AUDIO** をタッチしてください。

2

操作したいソースをタッチする。

：選んだソースのオーディオ画面が表示されます。

AV MENU画面



映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧にすることができます。(走行中は音声のみになります。)

※別売のリア席モニターを接続している場合、リア席モニターでは走行中でも映像をご覧いただけます。

DVDソース画面(例)



音量を調整する

1

▼ / ▲ をタッチする。

：画面に現在の音の大きさを示す音量表示が表示されます。

※押し続けても調整することができます。

USBソース画面(例)



音量表示

▲ をタッチすると音量を上げ、
▼ をタッチすると音量を下げます。



- DVD / BLUETOOTH Audio / VTR / リアモニター HDMI / HDMI ソースは個別に設定可能です。
- (オプション) にミュート機能を設定している場合は、 をタッチして音を消すことができます。
 「オプションボタンの設定をする」 G-2

オーディオをON / OFFする

1

 をタッチする。

：オーディオの各ソースを再生 / 終了します。

※録音中の場合、CDソースを終了しても録音は継続されます。



アドバイス

BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器や携帯電話の仕様によっては、オーディオをOFF / 車のエンジンスイッチをロックに入れても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFF にしてください。

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

1

各ソースの画面で、**現在地** をタッチする。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

※今聞いているソース画面に戻すには再度 **AUDIO** をタッチしてください。

アドバイス

音量調整や  /  を使った操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのまま画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

 を長押しする。

：画面が黒くなります。

※再度画面を表示するには画面をタッチ、または  をタッチしてください。

アドバイス

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
- ※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、 を長押ししても画面を消すことはできません。

時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1

各ソースの再生画面で、**切替** をタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するソースの場合、本設定はできません。

※再度オーディオ画面に戻すには、画面をタッチし、

切替 をタッチしてください。

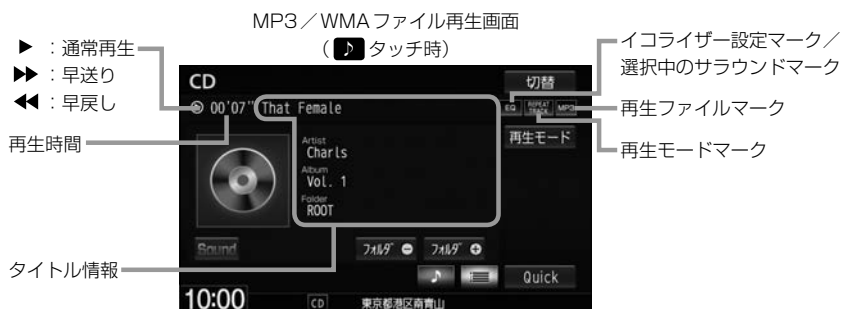
USBソース再生画面(例)



CDを聞く

CDを再生する

1 ディスクを入れる。(☞ A-16)



アドバイス

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。(自動録音/手動録音は変更できます。☞ I-2)
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから**CD/DVD**をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

トラック名/アーティスト名/アルバム名について

- 表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。
- ディスクにCD-TEXT情報があれば、CD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- CD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名が表示されます。
- ディスクにCD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにもヒットしなければ、アーティスト名/アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

CDを聞く

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

- ①  /  をタッチする。



アドバイス

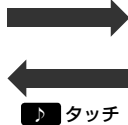
音楽CD録音中は、トラックを戻したり、進めることはできません。

■ トラックリストから選曲する

- ①  → 再生したい曲をタッチする。



 タッチ



 タッチ



トラックリスト表示



アドバイス

- タイトル情報がない場合、トラックリストにはTRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- MP3 / WMA ファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

■ フォルダ選曲する (MP3 / WMA のみ)

- ①  /  をタッチする。

	前のフォルダに戻る
	次のフォルダに進む



早戻し / 早送りする

1

-  /  を長押しする。



アドバイス

- 音楽CD録音中は、早戻し / 早送りはできません。
-  /  をしばらく押し続けていると早戻し / 早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

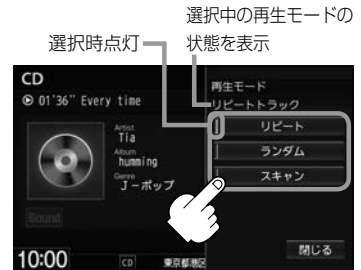
リピート／ランダム／スキャン再生する

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

	CD	MP3／WMA
リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ↓ リピート再生解除 (マーク非表示)	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ↓ フォルダ内の曲のリピート (REPEAT FOLDER 表示) ↓ リピート再生解除 (マーク非表示)
ランダム	ディスク内の曲をランダム再生 (RANDOM 表示) ↓ ランダム再生解除 (マーク非表示)	選曲中フォルダ内の曲をランダム再生 (RANDOM 表示) ↓ ランダム再生解除 (マーク非表示)
スキャン	曲の初め(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 ディスク内の曲をスキャン再生 (SCAN 表示) ↓ スキャン再生解除 (マーク非表示)	



アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

オンライン検索をする

※市販の音楽CDの場合

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターナビ用データ通信USBを利用して Gracenote 音楽認識サービスより個別に取得できます。

1

オンライン検索 をタッチする。

：インターナビ用データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功すると Gracenote 音楽認識サービス(サイト)より、タイトル情報を取得します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に **中止** をタッチしてください。

(タイトル情報更新中に **中止** は選べません。)



アドバイス

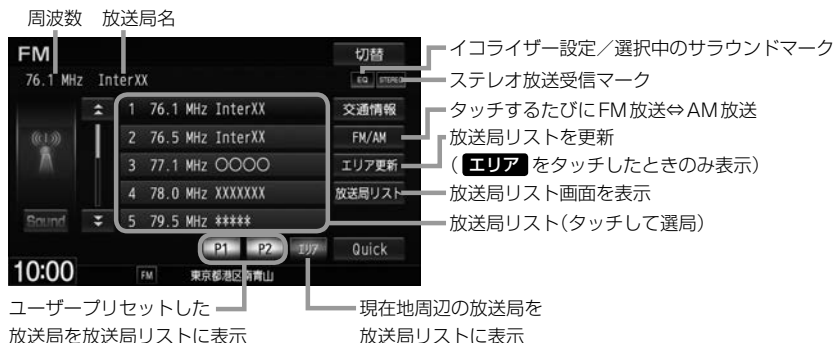
- 新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- オンライン検索は、CDソースまたはMusic Rackソースから行うことができますが、録音後にCDソースでオンライン検索をしてもMusic Rackソースには反映されません。
 - ※録音前にCDソースでオンライン検索をしておくとMusic Rackソースでもタイトル情報が反映されます。
 - 録音後にCDソースでオンライン検索した場合はMusic Rackソースではオンライン検索をしなくてもデータベース再探索をしてタイトル情報を更新することができます。
- 電波状況や情報のデータ量によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
 - ・他の通信を行っているとき
 - ・接続しているインターナビ用データ通信USBの圏外に車が移動したとき
 - ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報のデータ量や電波状況によっては、情報の取得に時間がかかる場合があります。
- 情報取得が終了すると、自動的に通信回線は切断されます。
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報が複数ある場合は、好きなアルバムを選ぶことができます。

FM / AMを聞く

FM / AMを聞く

1 AUDIOメニュー( A-14)から **FM/AM** をタッチする。

2 放送局リストからお好みの放送局をタッチする。



放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

選局する

■ 手動選局する

ひとつずつ上下する	 /  をタッチ ：操作するたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。
連続して上下する	 /  を長押しする ※押し続けている間、周波数が早送り／早戻しされます。お好みの周波数で指をはなしてください。 ※  /  をしばらく押し続けていると周波数の早戻し／早送りが止まります。

■ 自動選局する

①  /  を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、繰り返してください。

※自動選局中に  /  をタッチすると自動選局は止まります。



受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

FM / AMを聞く

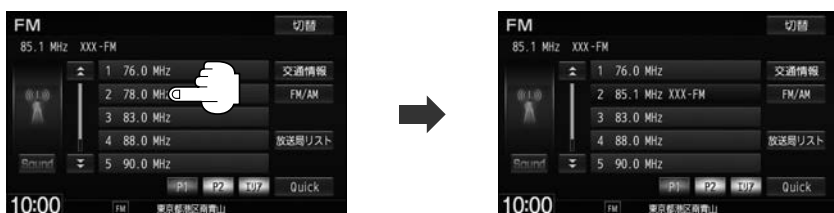
■ プリセット選局(P1 / P2)する

P1 / P2にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

□ 放送局をメモリーする

FM、AMでP1 / P2に6局ずつメモリーできます。

- ① **P1** / **P2** を選んでタッチする。
- ② **◀◀** / **▶▶** をタッチしてメモリーしたい放送局を選ぶ。
- ③ メモリーしたいボタンを、ボタンの表示が放送局の表示に変わるまで長押しする。



□ メモリーした放送局を呼び出す

- ① **P1** / **P2** ➡呼び出したい放送局をタッチする。
：選んだ放送局を受信します。

■ エリア選局する

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

- ① **エリア** ➡呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します



アドハイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局リストは自動的に更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局リストを表示できていない場合があります。その場合は、**エリア更新** をタッチして現在地周辺の放送局リストに更新してください。

■ 放送局リスト選局する

受信できる放送局のリストを表示します。

※FM / AM ソース以外のとき、自動で放送局をサーチします。

① **放送局リスト** → 呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信し、ひとつ前の画面に戻ります。

□ **放送局リスト選局でリストを更新する**

手動で車の現在地周辺で放送されている放送局のリストへ更新します。

① **リスト更新** をタッチする。

：サーチ中はリスト表示や音声が消え、サーチが完了すると更新された放送局リストが表示されます。受信できる放送局がない場合は、**リスト更新** をタッチする前のリストを表示します。



- リスト更新を行うとエリア選局の放送局名も更新されます。
- 自動で取得した放送局リストが正しく表示されない場合、リスト更新をすることで最新の放送局に更新することができます。

道路交通情報を聞く

1

交通情報 をタッチする。

：交通情報受信画面になり、道路交通情報を受信します。



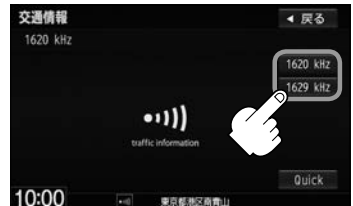
交通情報画面は AV MENU 画面の **交通情報** をタッチしても表示させることができます。

2

1620kHz または **1629kHz** をタッチする。

：選んだ周波数の道路交通情報を受信します。

※受信をやめるには **戻る** をタッチしてください。
最後に選んでいたソースが表示され、交通情報の受信を終了します。



iPod / iPhone を使う

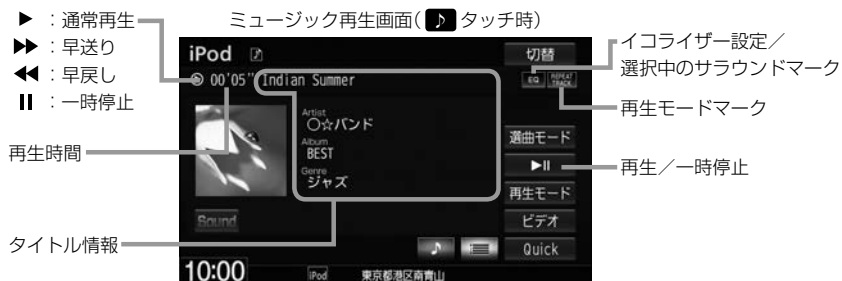
あらかじめ iPod / iPhone を本機と接続(☞ H-17)しておく必要があります。

※ iPod / iPhone は iPod ソースで再生します。USB ソースでは動作しません。

再生する

1 AUDIOメニュー(☞ A-14)から **iPod** をタッチする。

※ビデオを再生したい場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。



アドバース

- 表示内容は iPod / iPhone 本体で表示されるトラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名となります。ただし、iPod / iPhone の機種やバージョンによっては、トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語 / 英数字のみ表示可能です。
- iPod / iPhone 本体で表示される〜(半角波形表示)は、本機ではー(ハイフン表示)となります。
- iPod / iPhone 本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。

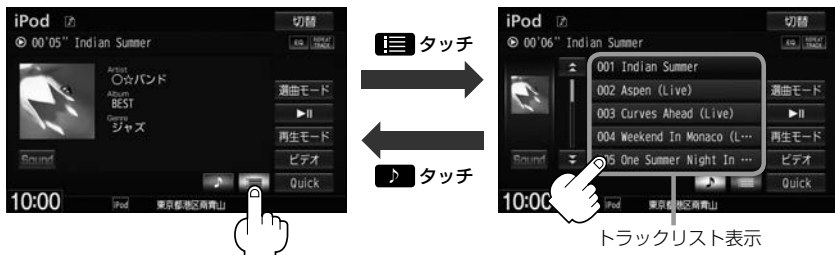
音楽を選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

- ①  /  をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

- ①  → 再生したい曲をタッチする。



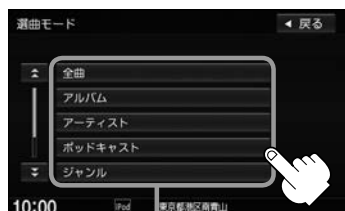
アドバース

表示されるリストは選曲モード( H-14)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード → 選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、安全のため **全曲** 以外は操作できません。



選曲モードのリスト

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム	再生したいアルバム⇒トラックを選んでタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト⇒アルバム⇒トラックを選んでタッチ
ポッドキャスト	再生したいポッドキャストを選んでタッチ
ジャンル	再生したいジャンル⇒アーティスト⇒アルバム⇒トラックを選んでタッチ
プレイリスト	再生したいプレイリスト⇒トラックを選んでタッチ
作曲者	再生したい作曲者⇒アルバム⇒トラックを選んでタッチ

すべて をタッチした場合は、絞込みをせずに次のリスト表示をします。

例えば、アーティストリストで **すべて** をタッチした場合、次に表示されるアルバムリストはiPod中にある全てのアルバムが表示されます。



アドバイス

- 選曲モードは、iPod / iPhone 本体に収録されている内容となります。
- iPod / iPhone のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチすると再生画面に戻ります。
- トラックリストのとき、トラック名が表示しきれない場合にタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※ トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示となる場合があります。

音楽を早戻し／早送りする

1

 /  を長押しする。


アドバース

 /  をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

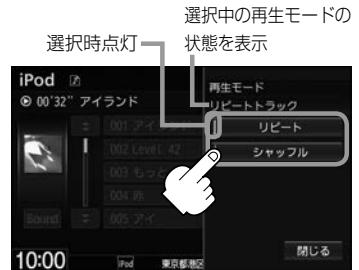
音楽をリピート／シャッフル再生する

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート ( 表示) ↓ リピート再生解除 (マーク非表示)
シャッフル	今聞いているリストの中からシャッフル再生 ( 表示) ↓ 今聞いているアルバムごとにシャッフル再生 ( 表示) ↓ シャッフル再生解除 (マーク非表示)

ビデオを再生する

1

AUDIO メニュー(図 A-14)から **iPod** をタッチする。

※ミュージックが再生される場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。

■ リストより再生するビデオを選ぶ

① ビデオ再生中に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② リストから再生したいファイルを選んでタッチする。



アドハイス

ファイルリストを変更するには、**リスト** をタッチし、表示されたリストから選んでください。さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



ファイルリスト

■ ビデオをリピート再生する

① ビデオ再生中に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② **再生モード** → **リピート** をタッチする。

※ **リピート** をタッチするたびに、再生中のビデオをリピート⇄リピート解除が切り替わります。



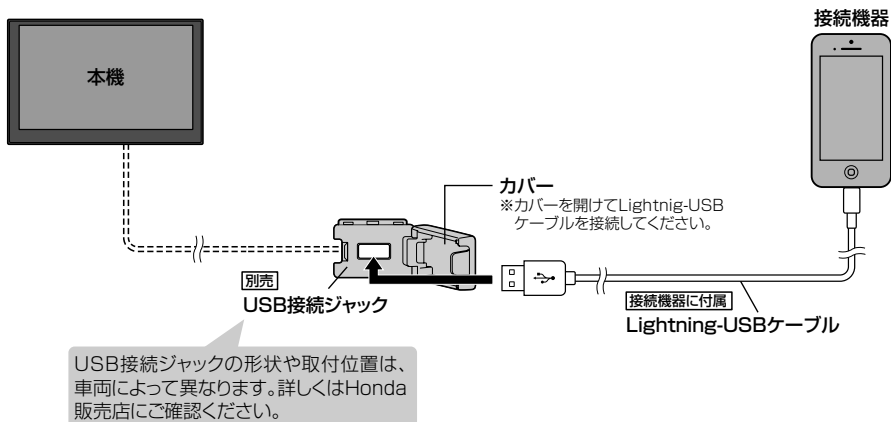
アドハイス

- iOS のバージョンにより、iPod touch、iPhone が映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod 本体で TV 出力の設定を“オン”にしてください。
- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod / iPhone 本体の操作はできません。
- iPod ビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)を iPod / iPhone がおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度 iPod ビデオモードにすると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。ただし、車のエンジンスイッチをロックに入れたりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リストの一番上の曲から再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは選択(再生)できません。
- ビデオモードに対応していない iPod の場合、映像は表示されません。画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**ミュージック** をタッチしてミュージックモードに戻してください。

iPod / iPhone を本機に接続する

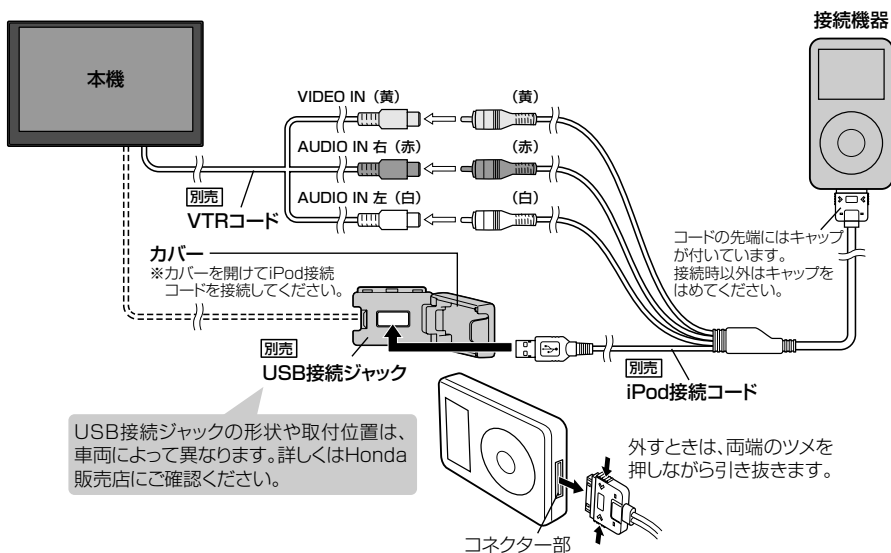
Lightning コネクタの場合

※ビデオ再生はできません。



Dock コネクタの場合

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると音楽・ビデオの再生が可能となります。





ヘッドホン

- USB 接続ジャックに USB 機器や USB メモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。
[H-25] ※ iPod 使用時は、USB 機器は使用できません。
- USB 接続ジャックから Lightning-USB ケーブルや iPod 接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- VTR コードに VTR 機器が接続されている場合は外してください。[L-2]
- 未接続の場合、AV MENU 画面で **iPod** は選べません。

iPod／iPhone を本機に接続すると

- iPod／iPhone に収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は動画や曲を見たり聞いたりすることはできません。)
- 本機に接続すると、起動中は iPod や iPhone へ充電を行います。
- 接続中は iPod／iPhone 本体を操作しないでください。
- iPod／iPhone が正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPod／iPhone を外して iPod／iPhone をリセットしてから再度接続してください。
- 端末によってはヘッドホンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機に iPod／iPhone を接続するときはヘッドホンなどの機器は外して iPod／iPhone 単体でお使いください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチをロックに入れると数分後に iPod 本体の電源も OFF されます。(ただし、車のエンジンスイッチをロックに入れた場合の動作は iPod に依存しますので保証するものではありません。)
- iPod ソースのときに、iPod／iPhone の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチをロックに入れたあとは、必ず iPod／iPhone を取り外してください。iPod／iPhone の電池を消耗することがあります。

USB機器／SDカードを使う

あらかじめUSB機器(USBメモリー／ウォークマン®)を本機と接続(▶ H-25)／SDカードを本機に挿入(▶ A-16)しておく必要があります。

再生する

1

AUDIOメニュー(▶ A-14)から **USB** または **SD** をタッチし、
モード切替 → **音楽ファイル**／**画像ファイル**／**動画ファイル** をタッチする。

※画像／動画を再生中に操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



アドバイス

- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、「No Title」と表示されます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名が表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- ウォークマン®に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルはフォルダ選曲でのみ再生できます。
- USB機器について▶ O-34／SDカードについて▶ O-33／音楽ファイルについて▶ O-44／画像ファイルについて▶ O-48／動画ファイルについて▶ O-49

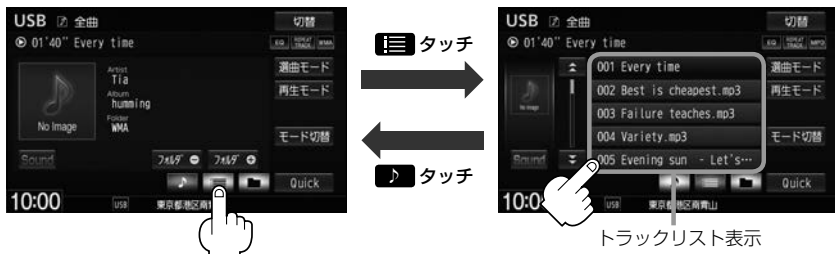
音楽を選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

- ①  /  をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

- ①  → 再生したい曲をタッチする。



アドバンス

表示されるリストは選曲モード( H-21)によって変わります。

■ フォルダ選曲する(USBメモリー／SDカード)／アルバム選曲する(ウォークマン®)

- ①  /  → 再生したいフォルダ／アルバムをタッチする。



アドバンス

USBメモリー／SDカードで使用的場合

再生画面( タッチ時)のとき、**フォルダ**  / **フォルダ**  をタッチしてフォルダを選ぶこともできます。(ウォークマン® は **フォルダ**  / **フォルダ**  は表示されません。)



ウォークマン® で使用的場合

- 選曲モードでフォルダを選んだ場合は、 が  に変わります。
- 選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選んだ場合は、 はタッチできません。
- 表示されるリストは選曲モード( H-21)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

- ①
- 選曲モード**
- 選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。

- ② 表示されるリストから選んでいき、再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム * 1	再生したいアルバム → トラックを選んでタッチ
アーティスト * 1	再生したいアーティスト → アルバム → トラックを選んでタッチ
ジャンル * 1	再生したいジャンル → トラックを選んでタッチ
グループ * 1	再生したいグループ → トラックを選んでタッチ
プレイリスト * 1	再生したいプレイリスト → トラックを選んでタッチ
フォルダ	再生したいフォルダ → トラックを選んでタッチ

* 1…ウォークマン®のみ

- ③
- 再生中画面**
- 
- をタッチする。

: 再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチするとひとつ前の画面に戻ります。

アドバース

- 選べる選曲モードは機器により異なります。
- USB 機器 / SD カードに収録されている曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

音楽を早戻し / 早送りする

1



/ を長押しする。



アドバース

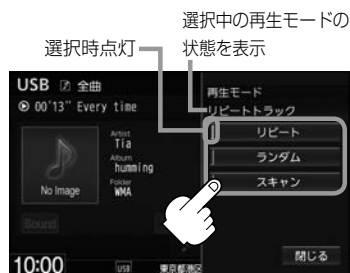


/ をしばらく押し続けていると早戻し / 早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート / ランダム / スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) → ↓ リピート再生解除 (マーク非表示) →
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生 (RANDOM 表示) → ↓ ランダム再生解除 (マーク非表示) →
スキャン	曲の初め (イントロ) を約 10 秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生 (SCAN 表示) → ↓ スキャン再生解除 (マーク非表示) →



アドバース

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

画像を再生する

1 AUDIO メニュー (A-14) から **USB / SD** をタッチする。

2 操作ボタンから **モード切替** → **画像ファイル** をタッチする。

※操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



操作ボタン

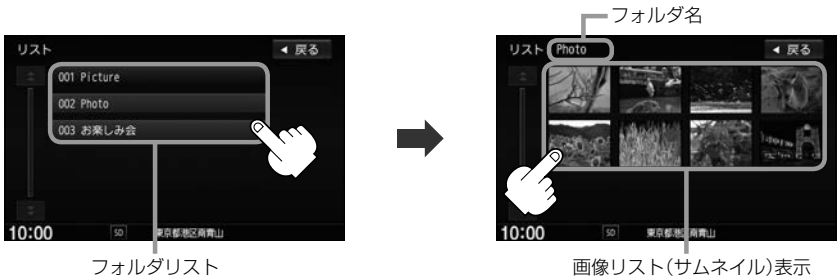
再生する画像を選ぶ

■ 1 つずつ次の画像 / 前の画像を表示する

- ①  /  をタッチする、
または全画面表示時(タッチボタン非表示時)に左右ヘドラッグ / フリック操作する。

■ リストより画像を選ぶ

- ① 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**リスト** をタッチする。
② フォルダを選んで、再生したい画像を選んでタッチする。



アドバイス

画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。

画像のスライドショーを表示する

選んでいるフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

1

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**スライドショー** をタッチする。

：設定した再生間隔でスライドショーを表示します。

※スライドショーをやめるには、画面をタッチ→**終了** をタッチしてください。



アドバイス

再生間隔を変更できます。スライドショー表示中に画面をタッチ→**再生間隔** をタッチし、お好みの時間を
選んでタッチしてください。

表示中の画像を回転する

1

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**回転** をタッチする。

※タッチするたびに表示中の画像が90度ずつ右に回転(時計回り)します。

動画を再生する

1 AUDIOメニュー(🔊 A-14)から **USB**／**SD** をタッチする。

2 操作ボタンから **モード切替** → **動画ファイル** をタッチする。

※操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



リストより再生する動画を選ぶ

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 **再生リスト** をタッチする。

2 再生したい動画ファイルを選んでタッチする。



アドハイス

リストは変更できます。

全ファイルをリスト表示

再生リスト → **リスト変更** → **全ファイル** *1 をタッチ

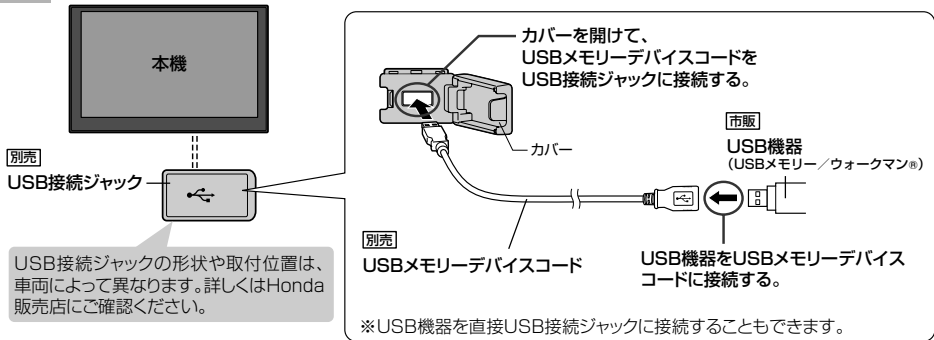
選んだフォルダ内の
ファイルをリスト表示

再生リスト → **リスト変更** → **フォルダ** *1 → フォルダリストから選んで
タッチ

* 1…ウォークマン® の場合、 **全ファイル** が **全てのビデオ**、 **フォルダ** が **VIDEO** に変わります。

USB 機器を接続する

1 別売の USB 接続ジャックと USB 機器を接続する。



アドバンス

- 車のエンジンスイッチをロックに入れている状態で行ってください。
 - USB 接続ジャックに別売の iPod 接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。[H H-17]
- ※ USB 機器使用時は、iPod は使用できません。

USB 機器の接続をやめる

1 [電源] をタッチする。

：オーディオを OFF します。

2 USB 接続ジャックから USB 機器を外す。

3 カバーを閉じる。

※開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。



アドバンス

- USB 機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
 - ※ USB 機器認識中(再生中)に外した場合、または別の USB 機器を接続した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
 - 音楽再生中に USB 機器を外すとデータがこわれたり、USB 機器が破損するおそれがあります。
- 必ず USB ソースを終了(OFF)にして外してください。

お願い

- USB ソースのときに、ウォークマン®の接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチをロックに入れたあとは、必ずウォークマン®を取り外してください。ウォークマン®の電池を消耗することがあります。

BLUETOOTH Audioを使う

機器を初期登録設定する

BLUETOOTH Audio機器の登録は、本機とBLUETOOTH Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **携帯電話機器登録** → **Bluetooth Audio** をタッチする。



アドバイス

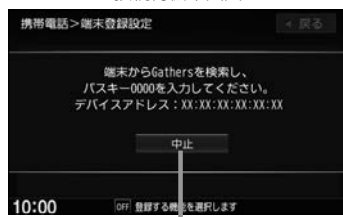
すでにBLUETOOTH接続済みの機器がある場合、その機器のBLUETOOTH接続を切断するかメッセージが表示されるので **はい** を選んで切断してください。

2

BLUETOOTH Audio 機器側を操作して登録を行う。

※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続を中止し、端末登録設定画面に戻ります。



アドバイス

- BLUETOOTH Audio機器は2台まで登録可能です。
- BLUETOOTH Audio機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- BLUETOOTH Audio機器の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。
- 本機に登録済みのBLUETOOTH Audio機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。

登録した機器の詳細情報を見る／登録した機器を削除する

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **Bluetooth Audio** をタッチする。

：登録機器一覧画面が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されている
BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、
登録機器一覧 → **Bluetooth Audio** は選べません。



2

情報を確認／登録機器を削除する。

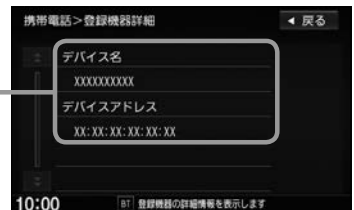
■ 登録機器の詳細情報を見る

① **詳細** をタッチする。

：登録機器詳細画面が表示されます。



登録機器詳細画面



登録しているBLUETOOTH Audio対応機器の
詳細情報を確認

■ 登録機器を削除する

① 削除したい機器の **削除** をタッチする。

：メッセージを確認し、**はい** をタッチすると、
登録機器を削除します。



アドバイス

2台の登録があり、現在使用中のBLUETOOTH Audio対応機器を削除した場合は、残り1台を接続可能なBLUETOOTH Audio対応機器として自動で切り替えます。

登録機器一覧画面



アドバイス

安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録機器を切り替える

1

MENU → 携帯電話 → 設定 → 登録機器一覧 →

Bluetooth Audio をタッチする。

※表示は最大2件です。登録されている
BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、
登録機器一覧 → Bluetooth Audio は選べません。



2

切り替えたい機器名の **接続する** を
タッチする。

：タッチするたびにBLUETOOTH接続する対象が
切り替わります。

登録機器一覧画面



アドハイス

- BLUETOOTH Audio 対応機器を切り替えた際、接続するまでに時間がかかることがあります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の自動接続／優先接続を設定する

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **Bluetooth Audio** をタッチする。

：登録されている BLUETOOTH Audio 対応機器の一覧が表示されます。

※登録されている BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

設定をする。

■ 自動接続の設定

① 設定を選び、タッチする。

する	ナビゲーション起動時に本機と BLUETOOTH Audio 対応機器を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と BLUETOOTH Audio 対応機器を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても BLUETOOTH Audio 対応機器から接続が行われた場合は接続を行います。

登録機器一覧画面



- 自動接続をする設定にしても BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末の BLUETOOTH 接続を OFF にしているなど)の場合は接続できません。
- BLUETOOTH Audio 対応機器を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

■ 優先接続の設定

① 優先したい BLUETOOTH Audio 対応機器の

優先する をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをアクセサリ、または ON に入れたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると **優先する** は選べません。

登録機器一覧画面



- 登録機器が 1 台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

BLUETOOTH Audioを使う

3

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

1

MENU → **携帯電話** → **設定** →
Bluetooth本体情報 をタッチする。



本機のBLUETOOTH情報を表示

デバイス名／パスキーを変更する

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

2

■ デバイス名を変更する

- ① **デバイス名変更** をタッチする。
- ② 英数字でデバイス名を入力し、**決定** をタッチする。



■ パスキーを変更する

- ① **パスキー変更** → **Bluetooth Audio** をタッチする。
- ② 数字でパスキーを入力し、**決定** をタッチする。



安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

音楽を再生する

1

AUDIOメニュー(▶ A-14)から **Bluetooth Audio** をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは ▶ をタッチしてください。



* 1…AVRCP ver.1.0では非表示

* 2…AVRCP ver.1.3以下では非表示／操作非対応

表示					
残量	無し	少	←	→	多



アドバイス

- 機器によっては、リストを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 携帯電話の仕様によっては、携帯電話側のオーディオプレイヤーを起動させる必要があります。また、オーディオプレイヤー画面中でないと正しく操作できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、オーディオ出力先を切り替えられる場合があります。その場合は出力先を BLUETOOTH にしてください。
- 機器によっては、機器側で操作を行うと、本機で表示される内容と機器側で表示される内容が異なる場合があります。
- 機器によっては、再生モードが正しく反映されない場合があります。
- 機器の仕様によっては、表示部の内容は機器の表示と一致しない場合があります。また機器によっては、本機で表示できないことがあります。
- 機器によっては、電池残量表示が表示されない場合があります。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ◀▶ をタッチする。

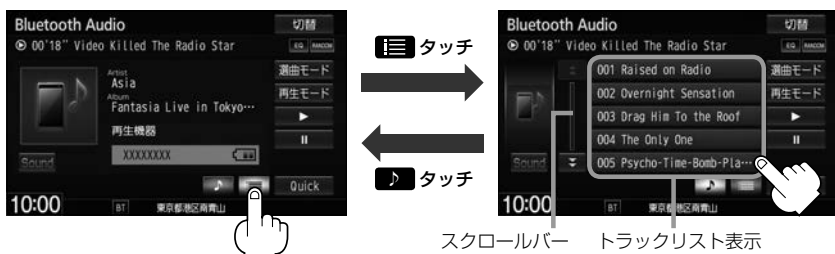
BLUETOOTH Audioを使う

■ トラックリストから選曲する ※AVRCP ver. 1.3以下では操作できません。

① →再生したい曲をタッチする。

※スクロールバーの位置表示／操作はできません。

※トラックリストの先頭から  をタッチして最後尾に移動はできません。
(最後尾から先頭へも移動できません。)



アドバース

トラック名が表示しきれない場合にリストをタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。

※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

■ 選曲モードから選曲する ※AVRCP ver. 1.3以下では操作できません。

① **選曲モード** →選曲方法をリストから選んでタッチする。

：選曲モードに表示される内容や以降の操作は機器によって異なります。

② **再生中画面** をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。



アドバース

- 機器のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 機器によっては、ボタン表示をタッチしても、選曲モード画面を表示できない場合があります。

走行中の操作制限について

リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になります。

音楽を早戻し／早送りする

1

⏮ / ⏭ を長押しする。



アドバイス

- 早送り／早戻しをすばやく解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は **▶** (再生) または **⏸** (一時停止) をタッチして解除してください。
- **⏮** / **⏭** をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート／ランダム再生する

※ AVRCP ver.1.3以下では操作できません。

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示)
	リピート再生解除 (マーク非表示)
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生 (RANDOM 表示)
	ランダム再生解除 (マーク非表示)



アドバイス

- ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- AVRCP ver.1.4以上対応でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

Music Rack を使う

音楽CDを1曲も録音していない場合は、Music Rack を聞くことはできません。
(録音について[図1-1])

音楽を再生する

1 AUDIOメニュー([図A-14])から **Music Rack** をタッチする。



アドハイス

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は最大で全角32(半角64)文字です。
- アルバム名がGracenoteデータベースから取得できていない場合は、“新規アルバム XXXXXXXX”と表示されます。
- アーティスト名がGracenoteデータベースから取得できていない場合は、“新規アーティスト”と表示されます。
- 該当するジャンル名がない場合は“その他”と表示されます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① [図A-15] をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

- ①  → 再生したい曲をタッチする。



アドバンス

- 表示されるリストは選曲モード()によって変わります。
- トラック名が表示しきれない場合にリストをタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

■ アルバム選曲する

- ①  → 再生したいアルバムをタッチする。

：タッチしたアルバムの先頭の曲を再生します。



アドバンス

- 選曲モードで **ジャンル** / **お気に入り** (お気に入りトラック) を選んだ場合は、 はタッチできません。
- 表示されるリストは選曲モード()によって変わります。

Music Rackを使う

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード → 選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、安全のため **全曲** 以外は操作できません。

② 表示されるリストから選んでいき、再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム	再生したいアルバム⇒トラックをタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト⇒アルバム⇒トラックをタッチ
ジャンル	再生したいジャンル⇒トラックをタッチ
お気に入り	① 再生したいお気に入りアルバム(1～4)／お気に入りトラック(1～4)をタッチ ② ■ ①で再生したいお気に入りアルバム(1～4)を選択した場合 再生したいアルバム⇒トラックをタッチ ■ ①で再生したいお気に入りトラック(1～4)を選択した場合 再生したいトラックをタッチ ※お好みの曲だけを集めることもできます。 あらかじめお気に入り登録をすることがあります。

③ 再生中画面 をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

- 録音した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- ジャンルリスト、お気に入りリストで再生したいジャンル、お気に入り登録曲を選んだときに該当するトラックがない(Gracenoteデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。
- アーティストリスト／アルバムリストのとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。
※登録順表示にしても他の画面を表示すると名前順表示になります。

アーティストリスト(例)



アーティスト名に“よみ”が入っているものを名前順に表示
（“よみ”が入っていないものは、その下に表示）

本機に録音した順に表示
（新しいものがリストの一番上）

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

音楽を早戻し／早送りする

1

 /  を長押しする。


アドバイス

 /  をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ← ↓ リピート再生解除 (マーク非表示) ←
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生 (RANDOM 表示) ← ↓ ランダム再生解除 (マーク非表示) ←
スキャン	曲の初め(イントロ)を約 10 秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生 (SCAN 表示) ← ↓ スキャン再生解除 (マーク非表示) ←



アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

Music Rackの曲管理を行う

曲の削除／曲情報(アーティスト名など)の変更(直接入力／再検索／オンライン検索)／再生したい曲の選択ができます。

1

編集 → **曲管理** をタッチする。

※曲管理を行う際、再生を停止するメッセージが表示されます。



2

アルバムまたはトラックを選ぶ。

アルバムリストを編集

- ・アルバムごと削除したい
- ・アルバム名を変更したい
- ・アルバム内の曲のアーティスト名を一括で変更したい
- ・再生させないアルバムを選びたい

① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。



② 手順 3 へ

トラックリストを編集

- ・曲を削除したい
- ・曲名とアーティスト名を変更したい
- ・再生させない曲を選びたい

① アルバムリストからアルバムを選んでタッチする。



② **トラック表示** をタッチする。

③ トラックを選んでタッチする。

④ 手順 3 へ



アルバム、トラックの再生する順番を変更することはできません。

3

操作したい項目を選ぶ。

■ 曲を削除する

① **削除** をタッチする。



注意 削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

■ 再生させないアルバム／トラックを選ぶ

① **再生選択** をタッチする。

② 再生させないアルバム／トラックの✓印を非表示にする。

※アルバム／トラックをタッチするたびに✓印が表示／非表示となります。

(例)アルバム再生選択画面

③ **決定** をタッチする。

- ✓印を外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- ✓印を外して再生しない設定にしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ**／**次へ** が表示されます。
前へ／**次へ** をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。

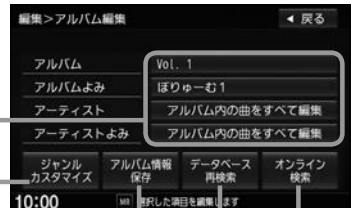
■ 曲情報／アルバム名を変更する

アルバム編集画面(例)

① **アルバム編集**／**トラック編集** をタッチする。

文字入力して変更する場合は、
変更する項目をタッチ

ジャンルを変更できます。



アルバム情報を保存します。
(カスタムアップデートする
ときにタッチします。)

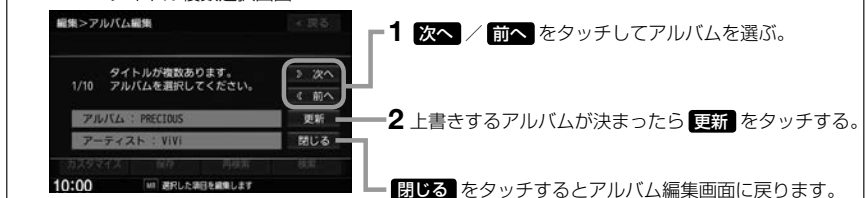
データベースを再検索して
曲情報を上書きします。

オンラインでデータベース
を検索して曲情報を書き
します。



データベース再検索／**オンライン検索** をタッチして複数検索された場合は下記画面が表示されます。

タイトル複数選択画面



Music Rackを使う

ジャケット写真を登録する

1

編集 → **曲管理** をタッチする。

※ジャケット写真を登録する際、再生を停止するメッセージが表示されます。

2

ジャケット写真を登録したいアルバムを選んで、
ジャケット写真 をタッチする。

3

登録したい画像ファイルが入ったメディアを選んで、
ジャケット写真を選択する をタッチする。



4

登録したい画像ファイルが入っているフォルダを選んで、
登録したい画像をタッチする。



アドバイス

登録した画像は再生画面で表示



- ジャケット写真に登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。

※176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。

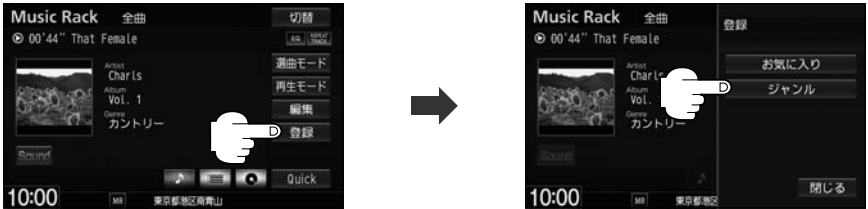
※16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

ジャンルを変更する

1

ジャンルを変更したい曲の再生中に **登録** → **ジャンル** をタッチする。

※変更する際、再生を停止するメッセージが表示されます。



2

アルバム単位 / **トラック単位** → ジャンルを選んでタッチする。

: ジャンル名が変わります。



お気に入り登録する

再生中の曲をお気に入りに登録して、オリジナルリストを作成できます。

1

お気に入りに入れたい曲／アルバムの再生中に **登録** ➔ **お気に入り** をタッチする。

※お気に入りに登録する際、再生を停止するメッセージが表示されます。

2

登録先のお気に入りフォルダをタッチする。

再生中のトラックの アルバムを登録したい	お気に入りアルバム1 ～ お気に入りアルバム4 を選んでタッチ
再生中のトラックを 登録したい	お気に入りトラック1 ～ お気に入りトラック4 を選んでタッチ



アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りアルバム1

🎵 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム2

🎵 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム3

🎵 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム4

🎵 フォルダ 200アルバム
(200CD)

4つのアルバム
フォルダ

1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能

お気に入りトラック1

🎵 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック2

🎵 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック3

🎵 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック4

🎵 フォルダ 200トラック
(200曲)

4つのトラック
フォルダ

1フォルダに200曲
合計800曲登録可能

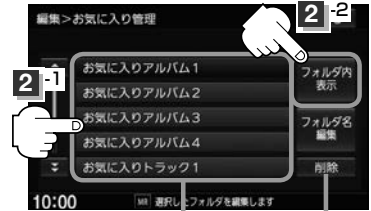
- 曲管理からもお気に入り登録できます。

お気に入りから削除する

1

編集 → **お気に入り管理** をタッチする。

2

お気に入りフォルダを選んで、
フォルダ内表示 をタッチする。

お気に入りフォルダのリスト

お気に入りフォルダ内の曲を一括して削除

3

お気に入りから削除したいアルバム／曲を選んで、
削除 をタッチする。**注意**

削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入りフォルダ名を変更する

1

編集 → **お気に入り管理** をタッチする。

2

お気に入りフォルダを選んで、**フォルダ名編集** をタッチする。

3

文字入力して変更し、**決定** をタッチする。

フェード・バランス／サブウーファー音量の調整をする

前後左右のスピーカーやサブウーファーの音量バランスを調整することができます。

※オーディオOFFのときはフェード・バランス／サブウーファー音量の調整はできません。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **フェードバランス** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2

◀ / ▶ / ▼ / ▲ / + / - をタッチして調整する。

フェード・ バランス	◀ …右スピーカーの音量が下がる。 ▶ …左スピーカーの音量が下がる。 ▼ …前スピーカーの音量が下がる。 ▲ …後ろスピーカーの音量が下がる。 ※イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。
サブウーファー	+ …サブウーファーの音量が上がる。 - …サブウーファーの音量が下がる。



3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選んだり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。

※オーディオOFFのときはイコライザーの調整はできません。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **イコライザー** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。



アドハイス

交通情報受信中は、イコライザーの設定はできません。(ボタンは選べません。)

2

好みの音質を選ぶまたは値を設定する。

■ お好みの音質を選ぶ

① 設定したい音質をタッチする。

：音質が確定され、選んだ音質で再生されます。
※さらにお好きな値に調整することもできます。

イコライザー画面



イコライザー設定を解除します。



POP / **ROCK** / **JAZZ** の値は本機に既存の値が設定されています。
USER1 / **USER2** の値は OFF 状態(±0)に設定されています。

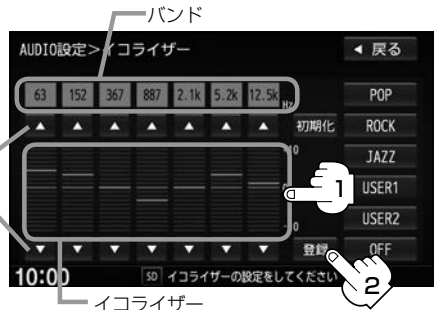
□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と
▲ / ▼ をタッチする方法の
2種類があります。
▲ … レベルアップ
▼ … レベルダウン

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。



イコライザー
※イコライザーの — の部分が
値(レベル)を表します。



走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



- **登録** をタッチする前に音質を変更(**POP** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER1** / **USER2** を選択)すると、設定した値(レベル)は保存されません。
- 手順 **2** で音質を選ぶと DSP, SRS CS Auto (H-46) は自動的に OFF となります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき **EQ** マークが表示されます。

SD ソース画面



イコライザー画面を表示

マーク表示

サラウンドの設定をする

※オーディオ OFF のときはサラウンドの調整はできません。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **サラウンド** をタッチする。

※ DVD ソース時は **MENU** を 2 回タッチします。

	SRS のサラウンド効果を有効にします。
DSP	いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。
OFF	サラウンド効果設定を OFF にします。



交通情報受信中は、サラウンド(臨場感)の設定はできません。(ボタンは選べません。)

2

DSP / **SRS CS Auto** を選んでタッチする。

DSP	擬似再現したい音場環境を選んでタッチ LIVE ライブハウスのような音場 HALL コンサートホールのような音場 STADIUM ... スタジアムのような音場 CHURCH ... 残響音の多い教会のような音場
	FOCUS / TruBass / MixToRear を選んでタッチ FOCUS 感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 (車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。) + / - をタッチして、フロントおよびリアを調整してください。 (+ ... 音の聞こえてくる位置が高くなる - ... 位置が低くなる) TruBass 低音の強さを、フロントおよびリアで設定できます。 + / - をタッチして調整してください。 (+ ... 低音が強くなる - ... 低音が弱くなる) MixToRear ... DVD によってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力される ものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定 できます。 ◀ / ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 (◀ ... 出力量が小さくなる ▶ ... 出力量が大きくなる)



DSP と SRS CS Auto の同時設定はできません。

DSP、**SRS CS Auto** を選ぶとイコライザーの設定は自動的に OFF となります。

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

スピーカーの設定をする

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto 設定時の音のゆがみを抑制することができます。

※オーディオOFFのときはスピーカーの調整はできません。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **スピーカー** をタッチする。

※DVDソース時は**MENU**を2回タッチします。

2

LARGE / **NORMAL** を選んでタッチする。



位置／大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17 cm以上	16 cm以下
リア	17 cm以上	16 cm以下

※スピーカーの大きさは目安ですので、設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選んでください。

選んだ結果が反映される



: NORMAL 選択時



: LARGE 選択時

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **車速連動音量** をタッチする。

※DVDソース時は**MENU**を2回タッチします。

2

HIGH / **MIDDLE** / **LOW** / **OFF** から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない



3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

Music Rack に音楽を録音する

音楽CDの録音設定をする	I-2
音楽CDを録音する	I-3
タイトル情報の更新について	I-5
個別にタイトル情報を更新する	I-5
データベースを更新する	I-5
ローカルアップデートをする	I-7
カスタムアップデートをする	I-8
Music Rack へ録音時の注意点について	I-10
Music Rack の使用容量を確認する	I-11
Gracenote データベースのデータを 初期化する	I-12
録音データを初期化する	I-12

音楽CDの録音設定をする

1

MENU → 設定 → AUDIO設定 → 録音管理 をタッチする。

2

CD録音設定 → 録音方法を選んでタッチする。

録音可能時間や本機の残容量を表示



録音管理	自動録音 …音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。
	手動録音 …自動録音しません。手動の録音方法 I-3
録音音質	高音質モード …高音質で録音します。音の質は良くなりますがデータ容量は大きくなります。
	標準モード …標準で録音します。音の質は下がりますがデータ容量は小さくなります。



アドバイス

- 1曲でも録音済みの音楽CDを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。) 未録音の曲を録音したい場合は、**●録音** → **●録音開始** をタッチしてください。
録音する曲を選ぶ場合は I-3
- 手動録音のときは、CDソースで録音前にオンライン検索でタイトル情報を取得できます。
- 録音可能曲数と容量は以下の通りとなります。

録音可能曲数*1	約4000曲
最大容量	16 GB

* 1… 録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4600曲となります。)

※ 最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

音楽CDを録音する

音楽CDを本機に録音できます。

録音管理で **自動録音** に設定していると、未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合、未録音の曲は自動録音されません。未録音の曲やお好みの曲などを録音する場合や **自動録音** に設定していない場合は、下記の手順を行ってください。

1 CD再生画面で **録音** をタッチする。



2 録音方法を選ぶ。

全ての曲を録音	全曲録音 をタッチ ：音楽CD内にある全ての曲を録音します。ただし本機の容量が足りない場合、全曲録音 はタッチできません。 ※録音順は音楽CDに収録されているとおりとなります。
曲を選んで録音	選択曲録音 → 録音したい曲を選ぶ → 決定 をタッチ 録音曲選択画面  ← 戻る — 選択が解除され、ひとつ前の画面に戻ります。 決定 — 録音したい曲を確定します。 10:00 CD 選択したトラックも録音します トラックをタッチするたびに✓印の有無が切り替わります。 ☑：録音します。 ☐：録音しません。



Gracenoteデータベースにヒットしない場合、録音曲選択画面は“トラックXX”(XXはトラック番号)と表示されます。

音楽CDを録音する

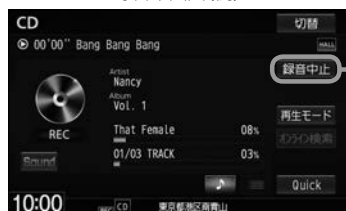
3

●録音開始 をタッチする。

：全曲または録音曲選択画面で選んだ曲の1曲目から順に再生しながら録音します。



録音中画面(例)



録音を中止

※録音を中止してもすでに録音したトラックは本機に保存されます。



アドバイス

- 本機が自動的にトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名を付加します。(CD-TEXTの情報は付加しません。)
※録音された音楽の情報がGracenoteデータベースで取得できる場合に限りです。データベースはお客様で更新できます。(新曲が出たときなど)
- 全ての曲の録音が完了すると、自動で録音を終了し、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音をしながら他のソースにすることができます。
※録音が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
- CDソースでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。

タイトル情報の更新について

本機にはあらかじめ音楽CDの約95%のタイトル情報を取得できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・トラック名などを付けることができます。

※全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。

※データベースにタイトル情報がない場合は、誤ったタイトル情報を表示する場合があります。

本機に収録されているGracenoteデータベースは更新することができます。更新する方法は、1つのCDアルバムのタイトル情報を個別に更新する方法と、本機のデータベースを更新する方法があります。

録音

個別にタイトル情報を更新する

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターネット用データ通信USBを使用してGracenote音楽認識サービスよりオンラインで取得できます。(オンライン検索)

オンライン検索する方法は、録音を行う前のCD再生画面からタイトルを取得する方法とMusic Rack再生画面からタイトルを取得する方法の2種類あります。(録音済みの曲をオンライン検索する場合は、Music Rackから行ってください。)

それぞれの画面で **オンライン検索** をタッチすると、タイトル情報が更新されます。詳しい手順は、CD再生画面からの場合(☞ H-8)、Music Rackからの場合(☞ H-38)を参照してください。



アドバンス

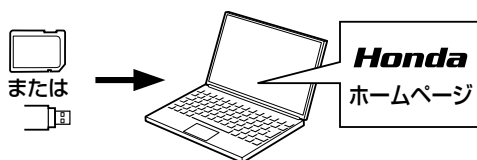
インターネットデータ通信を利用しないで個別更新する場合は、カスタムアップデート(☞ I-8)を行ってください。パソコンを使用してインターネットから個別更新が行えます。

データベースを更新する

Hondaのホームページで定期的に提供される更新ファイルを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。(ローカルアップデート)

※SDカードの代わりにUSBメモリーでもできます。

1. SDカードをパソコンに挿入する。
2. 指定のホームページにアクセスし、ユーザー登録する。
3. SDカードにダウンロードする。



4. ダウンロードしたSDカードを本機に挿入し、本機にダウンロードした情報を取り込む。
その後アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行ってタイトル情報を更新する。



タイトル情報の更新について



アドバイス

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、インターネット接続環境（64 kbps以上推奨）、SDカード（8 MB以上）などの動作環境を整えていただく必要があります。
※パソコンの動作環境（OSなど）については、指定ホームページをご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順（操作方法）は指定ホームページ^{（注）}でご確認ください。ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。

（注）：指定のホームページ

VRM-165VFEiの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-165vfei/>

VRM-165VFiの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-165vfi/>

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

ローカルアップデートをする

Hondaのホームページで定期的に提供される更新ファイルを使って、本機に収録されている Gracenote データベースを最新の情報に更新することができます。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース** をタッチする。

※ **Gracenote データベース** は走行中／録音中は選べません。

録音

2

ローカルアップデート(定期更新) をタッチする。

※ AUDIO ソースによっては再生が停止されます。



アドバイス

ローカルアップデートする前に

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする。
 2. 更新ファイルをパソコンにダウンロードする。
 3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角で NVDATA フォルダを作成する。
 4. パソコンにダウンロードした更新ファイルを NVDATA フォルダに移動させ、SD カードまたは USB 機器に取り込む。
 5. SD カードまたは USB 機器を本機に挿入／接続する。
- ※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行います。

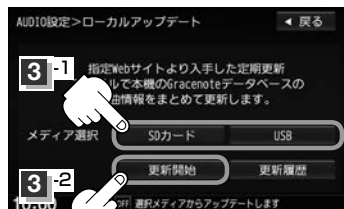
3

メディアを選んで、**更新開始** → **はい** をタッチする。



注意

更新中は他の操作(ソースの切り替え／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SD カード・USB 機器を抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。



更新履歴 をタッチすると、SD カードまたは USB 機器から更新した Gracenote データベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



お買い上げ時のバージョンを表示
お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

Gracenote データベース検索でここに表示されていないバージョンを更新してください。
バージョン情報は、一定の個数を超えると古い順に上書きされます。



アドバイス

最新の更新ファイルを更新しても、全てのデータベースが更新されるわけではありません。更新をしたい期間の更新ファイルを全てダウンロードし、更新を行ってください。

ローカルアップデートをする

4

取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、**OK** をタッチする。

本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

カスタムアップデートをする

あらかじめUSBメモリーを本機と接続、またはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

1

アルバム情報を一旦本機に保存する。

■ 新規アルバム(No title表示)のとき

自動でアルバム情報が保存されますので手順 **2** に進んでください。

■ 間違ったタイトルを表示しているとき

① Music Rack 再生画面の **編集** → **曲管理** → **はい** をタッチする。

② 間違ったアルバムをタッチ → **アルバム編集** → **アルバム情報保存** をタッチする。



2

SDカード／USBメモリーにデータの書き出しをする。

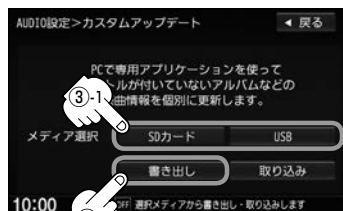
① **MENU** → **設定** → **AUDIO設定** → **Gracenoteデータベース** をタッチする。

※ **Gracenoteデータベース** は走行中／録音中は選べません。

② **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。

※AUDIOソースによっては再生が停止されます。

③ **SDカード** / **USB** → **書き出し** → **はい** をタッチする。

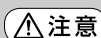


3 パソコンを使って更新する。

- ① 本機よりSDカード／USBメモリーを取り外し、パソコンに挿入／接続する。
- ② パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。
- ③ 取得した情報をSDカード／USBメモリーに取り込む。

4 本機にデータの取り込みをする。

- ① SDカード／USBメモリーをパソコンより取り外し、本機に挿入／接続する。
- ② **MENU** → **設定** → **AUDIO設定** → **Gracenoteデータベース** をタッチする。
- ③ **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。
- ④ **SDカード** / **USB** → **取り込み** → **はい** をタッチする。



更新中は他の操作(ソースの切り替え／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

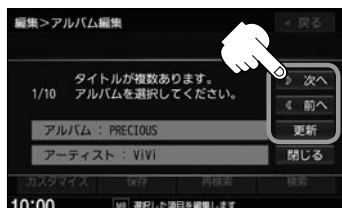
5 本機に取り込んだ情報を反映する。

- ① Music Rack 再生画面の **編集** → **曲管理** → **はい** をタッチする。
- ② タイトル情報を更新したいアルバムをタッチ→ **アルバム編集** をタッチする。
- ③ アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチする。
：本機に取り込んだ情報が反映されます。



データベース再検索を行ったときにタイトル情報が複数ある場合

次へ / **前へ** で好きなアルバムを選んで、**更新** をタッチする。



Music Rackへ録音時の注意点について

- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

- 車のエンジンスイッチをロックに入れる、またはオーディオを OFF 状態にしても前回設定した手動／自動の選択、録音音質は保持されます。
- 本機の Music Rack への録音は音楽 CD のみです。MP3／WMA ファイル、DVD、FM、AM、Digital TV、SD カード、BLUETOOTH Audio、USB 機器、iPod などから録音することはできません。
- 車のエンジンスイッチをアクセサリに入れた状態で録音しているときに、ON に入れてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失するおそれがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障するおそれがあります。
- ノンストップ CD (曲と曲の間の無音部分が無い CD) を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音する音楽 CD に依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - ・ 音楽 CD を録音中にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
- 録音中、ソースを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオを OFF 状態にしても録音は継続されます。
- 本機で録音した音楽 CD は、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済みまたは 1 曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選んで録音を開始してください。[P.1-3]
- 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- 録音可能時間が音楽 CD の演奏時間より短い場合は録音されません。
- 音楽 CD の記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロール CD は正常に録音、再生できない場合があります。
- 録音中の再生音は Music Rack に録音された音のため、音楽 CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音終了後、現在再生している曲の再生が終わるまで早送り／早戻し、再生モードの変更はできません。
- 録音を行うと録音前に設定されていた再生モードは解除されます。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
 - ・ 録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合
 - ・ 録音中に音楽 CD を取り出した場合

Music Rack の使用容量を確認する

本機の Music Rack 内の使用状況を確認することができます。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **録音管理** をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

2

Music Rack 情報 をタッチする。

：本機の Music Rack の使用状況が表示されます。

3

使用状況を確認したら、

AUDIO をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。

録音管理画面



音楽データの使い情報



Gracenote データベースのデータを初期化する

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース** をタッチする。

※ **Gracenote データベース** は走行中／録音中は選べません。

2

初期化 をタッチする。

※ AUDIO ソースによっては再生が停止されます。

※ 本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

3

設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。

- 初期化中は他の操作(AUDIO ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様が今まで更新したデータ(ローカルアップデート／カスタムアップデート)は消去され、データはもとに戻りません。初期化は十分確認のうえ行ってください。

録音データを初期化する

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **録音管理** をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

2

音楽データ初期化 をタッチする。

※ 本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行ってください。

※ AUDIO ソースによっては再生が停止されます。

3

設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。

- 初期化中は他の操作(AUDIO ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様の音楽データは消去され、もとに戻りません。

J

DVDを見る

映像
DVD

DVDを見る	J-2
基本的な操作	J-2
音声言語／字幕言語／アングル(角度)を切り替える	J-3
リピート再生する	J-3
タイトルメニュー／DVDメニューを操作する	J-4
タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する	J-4
TITLE／CHAPTERとTIMEの表示を切り替える	J-5
好みのタイトル／チャプターから再生する	J-5
DVDの初期設定をする	J-6
言語設定	J-6
ダイナミックレンジ圧縮の設定	J-8
モニター設定	J-8
視聴制限レベルの設定	J-9

DVDを見る

1

ディスクを入れ(☞ A-16)、
AUDIOメニュー(☞ A-14)から **CD/DVD** をタッチする。

：再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。(☞ J-4)



アドバイス

- 走行中、DVDの映像は表示されません。音声のみの再生となります。
- DVDの映像を調整するには(☞ O-24)
- 再生できるDVDについて(☞ O-31)

基本的な操作

本体パネルのボタンやタッチパネルの操作ボタンで操作します。
操作ボタンはDVD再生中に **MENU** をタッチ、または画面をタッチすると表示します。



操作ボタン

早戻し／早送り	⏮ / ⏭ を長押しする
再生停止	■ (停止) をタッチ ： 停止画面が表示されます。 ※再生中に ■ (停止) をタッチすると、再生を止めた位置をメモリーします。(ディスクによってはメモリーしません。) 続き再生解除 をタッチまたはディスクを取り出すと解除されます。 DVD設定 を変更した場合、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭から再生します。
一時停止／再生	再生中に ⏸ をタッチ ： 一時停止します。 ※再生停止／一時停止のとき ⏸ をタッチすると再生します。
スロー戻し／スロー送り	一時停止中に ⏮ / ⏭ を長押しする ※スロー中は音声は出ません。 ※VRモードでは、スロー戻しに対応していません。
チャプター戻し／チャプター送り	⏮ / ⏭ をタッチ



アドバイス

- ディスクによっては操作の一部を禁止しているものがあります。
- **⏮ / ⏭** をしばらく押し続けていると早戻し／早送り、またはスロー戻し／送りが止まり、通常の再生に戻ります。

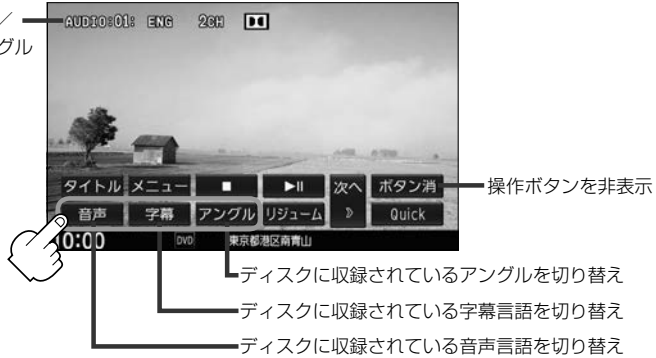
音声言語／字幕言語／アングル(角度)を切り替える

1

DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
音声／**字幕**／**アングル** をタッチする。

：タッチするたびに切り替わります。

選んだ音声言語／
 字幕言語／アングル
 を表示



映像
DVD



アドバース

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては、操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り替えができないものがあります。その場合は、DVDメニューや言語設定で切り替えてください。

リピート再生する

1

DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **リピート** をタッチする。

： **リピート** をタッチするたびにリピート表示が切り替わります。

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでもリピート再生できないものもあります。

※ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し／早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。

リピート表示

- **CHAPTER REPEAT**
再生中のチャプターを繰り返す
- **TITLE REPEAT**
再生中のタイトルを繰り返す
- **REPEAT OFF**
リピート再生しない



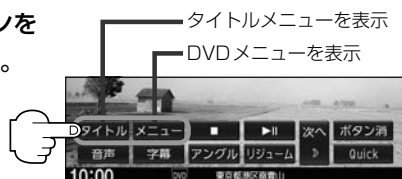
DVDを見る

タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

■ メニューを表示する

- ① DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、**タイトル**／**メニュー** をタッチする。



■ メニューを操作する

タイトルメニュー／DVDメニューの操作は、メニュー項目をタッチして操作します。
(操作ボタンが表示されている場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。
その場合は、画面にカーソルキーボタンを表示させて操作してください。☞ 下記

□ カーソルキーボタンで操作する

- ① DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、**次へ** → **カーソル** をタッチする。
- ② **▲** **▼** **◀** **▶** をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。



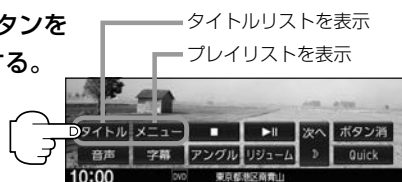
タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

- 1** DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、**タイトル**／**メニュー** をタッチする。



VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。



タイトルリスト表示(例)

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示



タイトルリスト／プレイリストを切り替え

- 2** リストより再生したいものを選んでタッチする。

TITLE / CHAPTERとTIMEの表示を切り替える

タイトル番号／チャプター番号、と再生時間の表示を切り替えます。

1

DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **タイム** をタッチする。

： **タイム** をタッチするたびに
表示が切り替わります。

タイム表示(例)

- **TITLE** ……タイトル番号を表示
- **CHAPTER** ……チャプター番号を表示
- **TIME** ……再生時間を表示

映像
DVD

タイム をタッチして表示を消すまで、表示されたままになります。

好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

1

DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **サーチ** をタッチする。

2

切替 をタッチして、画面左上表示を切り替える。

チャプターサーチ入力 → タイトルサーチ入力
↑ 非表示 ←

TITLE表示(例)



3

0 ～ **9** をタッチして、
タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※タイトル／チャプター表示が消えたら、再度 **切替** をタッチしてください。

4

実行 をタッチする。



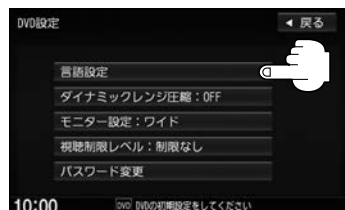
- 数字の入力はTITLE / CHAPTER表示が表示されている場合のみ有効です。
- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力しても無効です。
- ディスクによっては、タイトル／チャプターからの再生を禁止しているものもあります。

DVDの初期設定をする

再生言語の初期設定／ダイナミックレンジ圧縮のON/OFF／モニターのワイド表示設定／視聴制限設定の変更ができます。

言語設定

- 1** DVD再生中に **MENU** をタッチして
操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **言語設定** をタッチする。



- 2** 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。

※言語コード表 J-7



アドバイス

- DVD設定を変更すると、設定内容によっては続きメモリー再生が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。
- 言語が **オリジナル** または **OFF** に設定されている場合は、**言語を選択** と表示されます。
- 間違った言語コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を修正するときはクリアをタッチして数字を再入力してください。
- お買い上げ時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アブバシア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ペラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスマラ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラビュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA バンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

DVDの初期設定をする

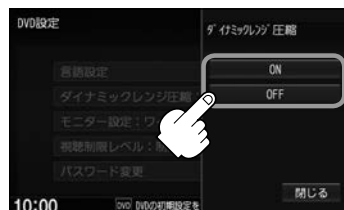
ダイナミックレンジ圧縮の設定

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **ダイナミックレンジ圧縮** をタッチする。

- 2 “ダイナミックレンジ圧縮” **ON** / **OFF** を
選んでタッチする。

ON	圧縮します。(小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選びます。)
OFF	圧縮しません。(標準音域で聞くとときに選びます。)



※設定が終わったら **閉じる** をタッチしてください。

モニター設定

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **モニター設定** をタッチする。

- 2 設定したいアスペクト比をタッチする。

※ 16 : 9ワイドスクリーン / 4 : 3レターボックス /
4 : 3パン&スキャンとなります。

※設定が終わったら **閉じる** をタッチしてください。



アドバンス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、ワイドに設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、**レターボックス** または **パン&スキャン** に設定してください。
※この場合は、本機のディスプレイ選択を **ノーマル** (L² 0-25) に設定しないと不自然な画像となります。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、フルまたはこれに相当するモードにして、本機を **レターボックス** または **パン&スキャン** に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、**レターボックス** または **パン&スキャン** の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4 : 3になるモードに設定してください。

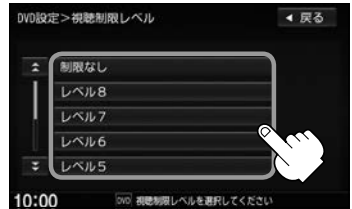
お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **視聴制限レベル** をタッチする。

- 2 設定したい視聴制限レベルを選んでタッチする。



映像
DVD

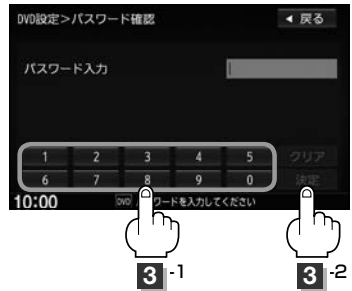
- 3 視聴制限のパスワードを入力し、
決定 をタッチする。

※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。



アドバイス

- 間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。正しいパスワードを再入力してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。



■ パスワードを変更する

- ① DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **パスワード変更** をタッチする。
- ② 現在のパスワード／新しいパスワード／
パスワード再入力をそれぞれ入力し
決定 をタッチする。



アドバイス

- 入力した数字を修正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。

K

Digital TVを見る

映像

T
V

miniB-CASカードを入れる／取り出す	K-2
TVを見る	K-4
初期設定を行う	K-4
選局する	K-6
信号を切り替える	K-6
地上デジタル(12セグ)／ワンセグを切り替える	K-6
番組表を見る	K-7
カーソルパネルの操作	K-8
ホームモード／おでかけモードを切り替える	K-9
視聴予約を確認する／取り消す	K-9
テレビの設定をする	K-10
B-CASカードをテストする	K-11
放送メールを見る	K-11
ソフト情報を見る	K-11
緊急警報放送について	K-12

miniB-CASカードを入れる／取り出す

本機には、ID(識別)番号の異なる miniB-CAS カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CAS カードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CAS カードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。

1

 → **OPEN** をタッチする。

: ディスプレイが開きます。

2

カードを入れる／取り出す。

■ miniB-CAS カードを入れる

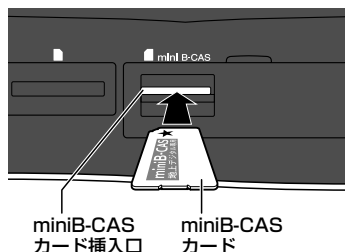
① カード挿入口カバーを開ける。

※ドライバーなど工具を使用して開けると、ツメ部分が破損するおそれがありますのでご注意ください。

② miniB-CAS カード挿入口に miniB-CAS カードを挿入する。

※★の付いた面を上にし、↑(右イラストの矢印)の方向に奥まで挿入してください。

③ カード挿入口カバーを閉じる。

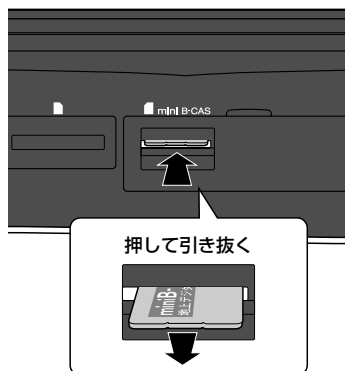


■ miniB-CAS カードを取り出す

① カード挿入口カバーを開ける。

② miniB-CAS カードを 1 回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。

③ カード挿入口カバーを閉じる。



3

 をタッチする。

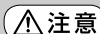
: ディスプレイが閉じます。



お願い

- miniB-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

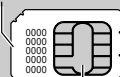
▶ 「**B-CASカードをテストする**」 K-11



注意

- miniB-CASカードのIC(集積回路)部を汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりしないでください。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部には触れないでください。
IC(集積回路)部に付いた汗や指紋、汚れなどにより TVが映らなくなる場合があります。
miniB-CASカードの両脇を持ち、本機に挿入してください。

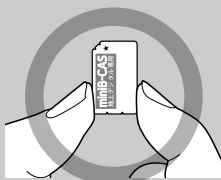
miniB-CASカード



IC(集積回路)部

映像

TV



TVを見る

1 AUDIOメニュー(A-14)から **Digital TV** をタッチする。



アドバイス

- 走行中、TVの映像は表示されません。音声のみとなります。
- TVの映像を調整するには  O-24

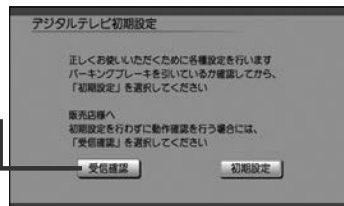
初期設定を行う

初めてDigital TVソースに切り替えたとき、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。テレビ放送を見るためには初期設定が必要です。

Honda販売店で初期設定を行わずに動作確認をする場合は、

受信確認 をタッチしてください。

受信確認中は   で物理チャンネルを変更できます。



1 **初期設定** をタッチする。

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、 **決定** をタッチする。

3 お住まいの都道府県を選んでタッチする。

※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。

- ・ 伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合： **沖縄・その他の島部** → **東京都島部** をタッチ
- ・ 南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合： **沖縄・その他の島部** → **鹿児島県島部** をタッチ

4 **次へ** をタッチする。

5 表示された地域を確認して、 **決定** をタッチする。

6 各チャンネルと放送局名を確認して、 **決定** をタッチする。

■ チャンネルを修正するには

- ①  /  でチャンネル番号を選ぶ。
- ②  /  で放送局を選ぶ。



7

miniB-CASカードが挿入されていることを確認して、**テスト**をタッチする。

8

次へ → **終了** をタッチする。

：初期設定が終了し、テレビ画面が表示されます。

※ B-CAS カードテストがNGの場合は **いいえ** → **終了** をタッチし、
以下の手順を行ってください。

① miniB-CAS カードを取り出し、再度挿入する。

② B-CAS カードテストを行う。(P K-11)

それでもNGになる場合は、Honda 販売店にお問い合わせください。



アドバイス

引っ越しなどで受信地域が変更になった場合は、初期設定項目の変更を行ってください。

郵便番号設定／県域設定／ホームチャンネル設定 (P K-10)

映像

TV

TVを見る

選局する

選局パネル

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、放送局リストから選んでタッチする。

視聴中の番組を表示



アドバイス

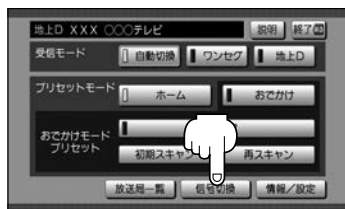
- リストはドラッグ／フリックによるスクロール操作はできません。
- ◀▶ / ▶▶ 操作で選局することもできます。



信号を切り替える

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、**デジタルTVメニュー** → **信号切換** をタッチして、各項目を設定する。



マルチビュー	同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像があるときに切り替えて視聴できます。
映像	複数の映像があるときに選べます。
音声	複数の音声があるときに選べます。
二重音声	音声多重放送のとき、主音声／副音声／主＋副音声から選べます。
字幕	字幕の言語を選びます。また非表示にするか選びます。
文字スーパー	文字スーパーの言語を選びます。また非表示にするか選びます。

地上デジタル(12セグ)／ワンセグを切り替える

1

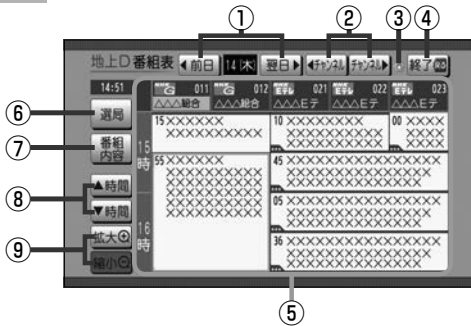
選局パネルから **デジタルTVメニュー** → “受信モード” **自動切換** / **ワンセグ** / **地上D** をタッチする。

自動切換	電波状況により、12セグ／ワンセグを自動で切り替え
ワンセグ	ワンセグのみで受信
地上D	12セグのみで受信

番組表を見る

※番組表から視聴予約を行うこともできます。

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、**番組表**をタッチする。

- ① 前日・翌日に切り替え(過去の日は表示できません。)
- ② チャンネルの変更
- ③ ホームモード／おでかけモードマーク
- ④ 番組表画面を消す
- ⑤ 番組表(タッチすると選んだ番組の番組内容を表示)
- ⑥ 選局パネルを表示
- ⑦ 選択中の番組(黄色の線で囲まれている番組)の番組内容を表示 **[下]** 下記
- ⑧ 時間帯の変更(過去の番組は表示できません。)
- ⑨ 番組表の拡大／縮小



アドバイス

- 選んだ番組(チャンネル)に複数の番組がある場合、番組選択画面が表示されます。希望の番組を選んでください。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

■ 番組内容画面の操作



番組内容を表示 番組属性を表示

ひとつ前の画面へ

番組内容または番組属性

今すぐ見る…すでに放送が始まっているとき表示
タッチするとTV画面に切り替え**視聴予約**…まだ放送が始まっていないとき表示
タッチすると視聴予約を実行
※視聴予約の確認／取消 **[下]** K-9

アドバイス

視聴予約について

- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に別のチャンネルの予約番組が始まると、予約番組に切り替わります。
- 他のソース使用中に予約番組が始まると、自動でTVソース(予約番組)に切り替わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約番組に切り替わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約番組が終了しても、予約番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- 自動受信以外の受信モード(ワンセグ／地上D)で予約した場合、異なる受信モードの視聴予約は実行できません。(例：ワンセグ番組を視聴予約していて、予約開始時間に地上Dモードにしていた)
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

カーソルパネルの操作

※データ放送の表示や操作は、カーソルパネルから行います。

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、**d操作**をタッチする。

カーソルパネル



- ① 色ボタン
- ② データ放送を表示
(データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻る)
- ③ データ放送画面内の項目を選択／実行
- ④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
- ⑤ カーソルパネル／数字パネル表示位置の変更
(画面左／右)
- ⑥ 数字パネルに切り替え
- ⑦ カーソルパネル／数字パネルを消す
- ⑧ 数字ボタン
- ⑨ 入力した数字を決定／実行
- ⑩ カーソルパネルに切り替え

操作 を
タッチ

↑

↓

数字 を
タッチ

数字パネル



⑧ ④ ⑨ ⑤ ⑩ ⑦



アドバイス

- 文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。

文字カーソルを移動

カーソルパネルに戻る

スペースを入力

入力した1文字を消す

※途中の文字を消す場合は、**◀ ▶**で修正したい文字の右側に文字カーソルを移動し、**修正**をタッチします。

文字種を変更

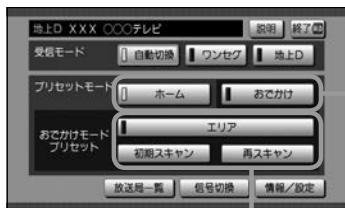
入力した文字で実行

- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

ホームモード／おでかけモードを切り替える

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、

デジタルTVメニュー → **ホーム**／**おでかけ** をタッチする。

ホームモード／おでかけモードの切り替え



2通りのチャンネル設定をして、自宅周辺ではホームモード、お出かけ先ではおでかけモードというように、チャンネル設定を切り替えてテレビを視聴することができます。

おでかけモードのチャンネル設定（プリセット）をします。

エリア	現在地に応じて受信できる放送局を自動で切り替えます。
初期スキャン	現在地で受信できる放送局をスキャンし、リストを上書きします。
再スキャン	現在のおでかけモードに登録されているチャンネルの他に、新たに受信できる放送局を追加します。以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。（消去・上書きなどはされません。）

視聴予約を確認する／取り消す

番組表画面で視聴予約した番組の確認と取り消しができます。

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、

デジタルTVメニュー → **情報／設定** → **視聴予約** をタッチする。

視聴予約画面



① 視聴予約番組リスト

取り消したい番組を選べると、✓印が付きます。

② 取り消したい視聴予約番組を選んだ後、

取消 → **はい** をタッチで取り消し

②

テレビの設定をする

地上デジタル放送に関する設定や、引っ越しした場合に地域や郵便番号の再設定をします。

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、**デジタルTVメニュー** → **情報／設定** → **システム設定** をタッチする。



2

各項目を選んでタッチし、設定する。

オート放送局サーチ	受信状態が悪くなった場合、自動で受信状態のよい中継局、同系列の放送局に切り替えます。 する ……オート放送局サーチする。 しない ……オート放送局サーチしない。  する に設定していても、放送局を切り替えられない場合があります。 (県境を越えて移動中など)その場合は、選局パネルから放送局を選んでください。
地上D選局対象	テレビ ……… テレビサービスのみ選局 テレビ／データ …… テレビサービスと独立データサービスを選局  • テレビ に設定したときは、番組表もテレビのみ表示されます。 • 設定できるのは地上デジタル放送のみです。ワンセグの場合、設定しても有効になりません。
郵便番号	引っ越しなどで郵便番号が変わった場合などに設定しなおします。 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 をタッチ
県域	引っ越しなどで県域が変わった場合などに設定しなおします。 地域を選んでタッチ→都道府県を選んでタッチ
ホームチャンネル	引っ越しなどで受信地域が変わった場合などに設定しなおします。 あらかじめ、ホームモードに切り替えておいてください。 初期スキャン …… 現在受信できるチャンネルを検索し、以前のリストに上書きされます。 再スキャン …… 現在のホームモードに登録されているチャンネルの他に、新たに受信できる放送局を追加します。 ※以前のリストに上書きされません。 マニュアル …… 設定したチャンネルを修正します。 K-4手順 6 ※放送局一覧の局名やチャンネルの入れ替えができます。

B-CASカードをテストする

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、

デジタルTVメニュー → **情報／設定** → **B-CASカード** をタッチする。



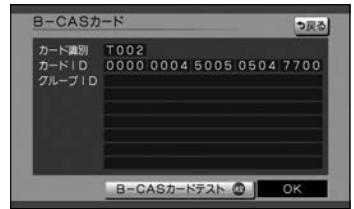
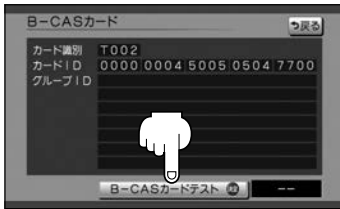
カードID(B-CASカード番号)はお問い合わせの際に必要な場合があります。メモを取るなど忘れないようにしておいてください。

2

B-CASカードテスト をタッチする。

※テストがOKの場合は“OK”と表示されます。

“NG”と表示された場合は、再度テストしてください。それでも“NG”になる場合は、Honda販売店にお問い合わせください。



映像
TV

放送メールを見る

放送メールを確認します。最大31件受信し、新しく受信したときに古いメールから削除されます。確認したいメールを選んでタッチすると、内容が表示されます。

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、

デジタルTVメニュー → **情報／設定** → **放送メール** をタッチする。

ソフト情報を見る

ソフト情報を確認することができます。

1

TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、

デジタルTVメニュー → **情報／設定** → **ソフト情報表示** をタッチする。



文書1 **文書2** **文書3** をタッチすると、それぞれの情報画面に切り替わります。

緊急警報放送について

■緊急警報放送(EWS)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

■緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

- ・緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り替えてください。
- ・視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り替わりません。
- ・走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- ・Digital TV ソース以外のソースを選んでいても緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り替わることがあります。
- ・緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

外部機器の映像を見る／音声を聞く

接続する	L-2
映像を見る／音声を聞く	L-4

接続する

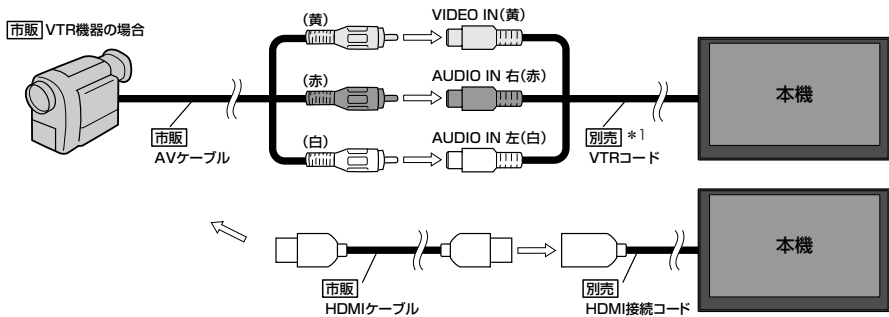
市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

※接続の前に

- ①接続する機器側の電源を切ってください。
- ②車のエンジンスイッチをロックに入れてください。
(本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。)

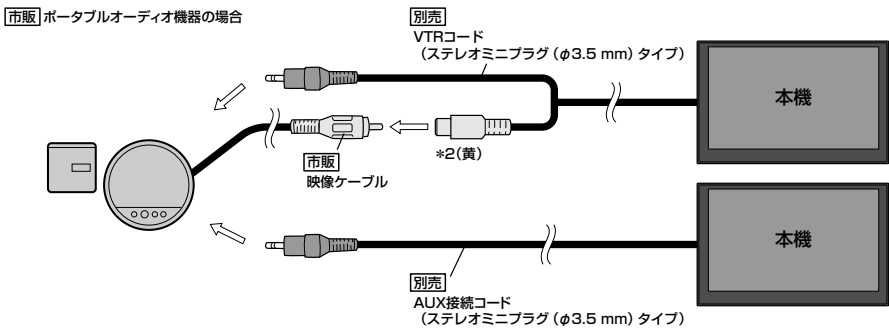
1 機器を接続する。

VTR機能	別売のVTRコードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	別売のAUX接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続
HDMI機能	別売のHDMI接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続



※車両によってはHDMI接続コードの代わりにHDMI接続ジャックを使って接続する場合があります。

* 1…VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合は外してください。[P.17]イラスト



* 2…DVDプレーヤーなどの場合に使用します。

2

外部接続を設定する。

※ VTR / AUX で接続する場合は外部接続の設定をする必要はありません。

- ① **MENU** → **設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。
 - ② **HDMI接続設定** をタッチする。
 - ③ “HDMIを使用” の **する** をタッチする。
-

映像を見る／音声を聞く

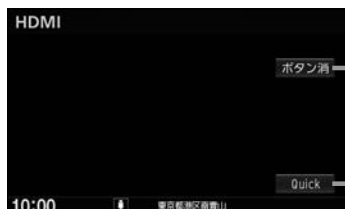
1

本機と使用する機器の電源を入れ、
AUDIOメニューから **HDMI**／**VTR** を選んでタッチする。



画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

HDMIソース画面(例)



ボタン消 — ボタンを消し、全画面を表示

Quick — Quick MENUを表示

2

AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



アドバイス

- 走行中、外部機器の映像は表示されません。音声のみとなります。
- 接続される機器の電源をOFFにしてから、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをロックに入れる)にしてください。
- VTR／AUX端子から入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- HDMI端子から入力された映像や音楽はHDMIソースで視聴できます。
- VTR／AUX／HDMIの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。
- 対応している映像信号は720p、1080i、480p(16:9、4:3)です。
- HDMIで接続した機器の音声はBLUETOOTHで接続されている場合、HDMIで音声が出ないことがあります。そのような場合は機器側のBLUETOOTHの接続をOFFしてからHDMIを使用してください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス 75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス 47 kΩ)

- 外部機器の映像を調整するには O-24